



2020年8月7日

各 位

会社名 東洋炭素株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長兼 CEO 近藤 尚孝
(コード番号：5310 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 堤 宏記
(TEL. 06-6472-5811)

業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年2月14日に公表いたしました「2019年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2020年12月期の業績予想および配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2020年12月期連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	30,000	3,200	3,200	2,200	104.90
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	36,402	5,175	5,207	2,944	140.40

(2) 公表の理由

2020年12月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算定が困難なため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、連結業績予想を公表することといたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう各国の規制や制限の解除・緩和により、経済活動は徐々に再開し、世界経済は緩やかながら回復の兆しを呈しており、半導体市場では調整が一段落する一方で、自動車や航空機などの輸送機器関連市場は依然低調で、産業全般の本格的な回復には時間を要するものと見られます。

当企業グループにおきましては、第2四半期末の受注残高が大幅に減少するなど、第3四半期以降も厳しい状況が継続し、来期以降需要は緩やかに回復すると想定しております。

以上の状況を踏まえ、2020年12月期通期連結業績予想を公表いたします。(第3四半期以降の想定為替レート：105円/US\$、115円/EUR、15円/人民元)

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況は予断を許さず、足元では米中貿易摩擦の激化に

よる影響が懸念されるなど、当企業グループの事業環境は依然として先行き不透明であり、今後事業環境の変化等によって業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 配当予想について

(1)

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	—	—
今回予想	0	50	50
当期実績	0		
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	0	50	50

(2) 公表の理由

当社は、長期的な競争力の強化と企業価値の向上を目的として、戦略的に投資を行うとともに、各事業年度の経営成績、将来の事業展開や経営基盤の強化に向けた資金需要等を総合的に勘案し、安定した利益還元を継続して行うことを基本方針としており、内部留保金につきましては、生産関連設備投資、新製品開発および研究開発投資等に充当していく所存であります。

当期の配当につきましては、業績予想値の算定が困難であったことから未定としておりましたが、上記1. のとおり本日連結業績予想を公表したことにともない、1株当たり年間配当予想を公表いたします。

(注) 上記の予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上